

社会資本総合整備計画 事後評価シート

川越市中心市街地の活性化

平成27年3月

埼玉県川越市

都道府県名		埼玉県		市町村名		川越市		地区名		川越市中心市街地の活性化				
交付期間		平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期		平成26年度		交付対象事業費		8,290百万円				
事業名														
当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業	川越市中心市街地地区都市再生整備計画事業		道路事業(市道0009号線、市内循環線(鮎田町)、(仮称)本川越西口駅前通り線、川越所沢線、川越駅南大塚線、川越駅南大塚線地町1丁目交差点改良)、地域創造支援事業(本川越駅西口開設工事、都市景観重要建築物の活用)、まちづくり活動推進事業(まちづくりアドバイザーの派遣)		-		-		-				
		B関連社会資本整備事業		-		-		-		-				
		C効果促進事業		-		-		-		-				
		-		-		-		-		-				
当初計画から削除した事業	A基幹事業	川越市中心市街地地区都市再生整備計画事業		①道路事業(本川越駅前通り線)、事業活用調査(交通調査・解析) ②公園事業(仮称)川越城富士見緑公園)、地域創造支援事業(川越城富士見緑公園)		①関連事業とすることが適切と判断したため ②観光の「核」となる施設として旧川越織物市場保存活用事業が、(仮称)川越城富士見緑公園等よりも多くの課題を解決し、通行量の増加に効果があると考えたため		-		①影響なし ②目標(魅力的な都市空間の創出)の達成に影響 指標1の達成に影響を与えるが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く				
		-		-		-		-		-				
		B関連社会資本整備事業		-		-		-		-				
		C効果促進事業		-		-		-		-				
1)事業の実施状況	A基幹事業	川越市中心市街地地区都市再生整備計画事業		①道路事業(川越駅西口駅前広場(市道0009号線)、立門前線)、地域生活基盤施設(川越駅西口歩行者用デッキ、川越駅西口駅前広場サイン)、高質空間形成施設(川越駅西口駅交通広場エレベーター、川越駅西口駅前広場公衆便所、川越駅西口駅前広場「シェルター」、地域創造支援事業(旧川越織物市場保存活用事業、休憩等施設整備事業) ②地域創造支援事業(新築修繕補助事業) ③地域創造支援事業(川越まちなかコミュニティサカシユル事業)		目標をよりよく達成するため		-		①安全・快適な歩行空間や人々が憩い集う施設を整備することで、目標(中心市街地の活性化)の達成に貢献 指標1の達成に寄与するが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く ②歴史的建造物の保全活用を図ることで、目標(中心市街地の活性化)の達成に貢献 指標1の達成に寄与するが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く ③新たな交通手段を整備することで、目標(中心市街地の活性化、歴史的風貌維持向上)の達成に貢献 指標1及び指標3の達成に寄与するが、他の要因で通行量及び来場者数が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く				
		川越市歴史的風貌維持向上地区都市再生整備計画事業		道路事業((仮)喜多院門前通り線)、高質空間形成事業((仮)喜多院外環通り線)、地域創造支援事業(新築修繕補助事業、都市景観重要建築物の活用)		歴史的風貌維持向上を目的とする事業を実施することで、目標をよりよく達成するため		-		計画の見直しにあたり、中心市街地の活性化には、川越らしい「奇」の形成が必要不可欠であることから、目標として「本市固有の歴史的風貌の維持向上を図る」とを掲げ、指標2「都市景観形成地域内における届出件数」に改めた。これらを実現するための事業として「川越市歴史的風貌維持向上地区都市再生整備計画事業」を追加した。 また、歴史的風貌維持向上に関する事業を実施することで、目標(中心市街地の活性化)の達成に貢献 指標1の達成に寄与するが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、数値目標は据え置く				
		川越市歴史的風貌維持向上地区街なみ環境整備事業		①旧山崎家別邸保存整備事業、市指定史跡永島家住宅保存整備事業、指定文化財の保存修理事業、伝統的建造物群保存地区内の景観補助事業 ②都市景観重要建築物の活用(修理工費等の補助)		川越市歴史的風貌維持向上計画の認定に伴い、川越市中心市街地地区都市再生整備計画事業及び川越市歴史的風貌維持向上地区都市再生整備事業と合わせて実施することで、目標をよりよく達成するため		-		計画の見直しにあたり、「中心市街地の活性化」及び「歴史的風貌の維持向上」の2つの目標に対する成果をより効果的に表現できる指標「旧山崎家別邸における日・祝日の来場者数」に改めた。この指標を実現するための事業として、「川越市歴史的風貌維持向上地区街なみ環境整備事業」を追加した。 また、目標(中心市街地の活性化、歴史的風貌維持向上)の達成に貢献 ①指標1の達成に寄与するが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、数値目標は据え置く ②指標1及び指標2の達成に寄与するが、他の要因で通行量及び届出件数が変動する可能性があるため、数値目標は据え置く				
		B関連社会資本整備事業		川越駅南大塚線、川越駅南大塚線地町1丁目交差点改良、本川越駅前通り線		国の認定を受けた川越市中心市街地活性化基本計画に基づいたエリア設定を行い、川越市中心市街地地区都市再生整備計画事業の区域外の事業となつたが、基幹事業である川越市中心市街地地区都市再生整備計画事業と一体となって整備することで、目標をよりよく達成するため		-		中心市街地へのアクセシビリティ向上を図るとともに安全・快適な歩行空間を整備することで、目標(中心市街地の活性化)の達成に貢献 指標1の達成に寄与するが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く				
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-		-		-				
	変更	変更なし		-		-		-		-				
2)社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	休日の歩行者・自転車の通行量	人/9時間	124,024	H19	130,000	H26	—	152,072	○	あり なし	交通ネットワークの整備により中心市街地内への利便性が向上し、また各種イベントの開催等により多くのメディアが川越の魅力を取り上げたことで、休日における歩行者・自転車通行量の増加につながった。	—	
	指標2	都市景観形成地域内における届出件数	件/年	32	H21	35	H26	—	48	○	あり なし	歴史を生かしたまちづくりなど、中心市街地のまちづくりを推進した結果、都市景観形成地域内への居住者数が増加している。今後は、平成27年度に旧山崎家別邸保存活用事業が完了予定のため、1年以内の数値目標を達成する可能性が高い。また、景観百選・景観ガイドライン等による啓発事業が旧山崎家別邸の整備と連携し、指標の改善に貢献するものと考えられる。	平成27年4月頃	
	指標3	旧山崎家別邸における土日・祝日の来場者数	人/日	77.7	H23	87.0	H26	—	83.9	△	あり なし	市のホームページや観光パンフレットにおいて、旧山崎家別邸を観光スポットとして紹介したことで、来場者数が増加している。今後は、平成27年度に旧山崎家別邸保存活用事業が完了予定のため、1年以内の数値目標を達成する可能性が高い。また、景観百選・景観ガイドライン等による啓発事業が旧山崎家別邸の整備と連携し、指標の改善に貢献するものと考えられる。	平成28年4月頃	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	休日の歩行者・自転車の通行量(川越市歴史的風貌維持向上計画重点区域内計12地点※境界にかかると地点を含む)	人/9時間	77,706	H23	—	—	—	128,392	—	あり なし	町並みの環境整備や景観百選・景観ガイドライン等による啓発事業によるPRの実施、また、メディアが川越の魅力を取り上げ、これにより、旧山崎家別邸を含む川越市歴史的風貌維持向上計画重点区域内の休日における歩行者・自転車通行量の増加につながった。今後、旧山崎家別邸の整備及び開館により、指標3の目標を達成するものと考えられる。	—	
4)定性的な効果発現状況	・川越駅東口ペDESTリアンデッキにエレベーターを設置したことで、移動の円滑化が図られ、誰もが使いやすい空間を創出することができた。 ・川越駅西口駅前広場改修により、誰もが利用しやすい歩行空間が整備され、歩行者の安全性の向上及びバリアフリー化、交通結節点機能の強化が図られた。また、住民がワークショップに参加したこと等により地域のまちづくりの機運が高まり、川越駅西口地域のイメージアップにつながった。													
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容		実施状況		今後の対応方針等							
			-		-		-							
			-		-		-							
			-		-		-							
5)実施過程の評価	住民参加プロセス	①まちづくりアドバイザーの派遣		都市再生整備計画に記載し、実施できた		①まちづくりアドバイザーの派遣については、今後とも都市景観形成地域内において、景観まちづくりを推進する協議会の活動を支援することで、良好な景観の形成を図っていく。								
		川越駅西口駅前広場改修に関する近隣3自治会及び地元商店街との意見交換会、川越駅西口駅前広場の改修案に係る意見募集、川												

